

平成30年9月12日（水）

（午前9時30分 開議）

○議長（岡 弘悟君）ただ今の出席議員数は20人で全員であります。

○議長（岡 弘悟君）これより本日の会議を開きます。

#### 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（岡 弘悟君）これより日程に入り、日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、議長において3番 杉本君、4番 今城君の2名を指名いたします。

#### 日程第2 一般質問

○議長（岡 弘悟君）日程第2 一般質問を行います。

順番14、3番 杉本君。

〔3番（杉本俊彦君）登壇〕

○3番（杉本俊彦君）早速、一般質問に入ります。

無人駅の利活用についてなんですけれども、実は前回の一般質問で、無人駅、特に高野口駅と隅田駅についてお伺いいたしました。

その後、3カ月たったんですが、進捗、どのような形で、まちとかかわって、地域とかかわっているかということも含めまして、お尋ねしたいということで質問いたします。

市内各無人駅の利活用について、市の地区への対応と考えを尋ねます。

①JR和歌山線についてですが、高野口駅、紀伊山田駅、下兵庫駅、隅田駅ということです。

②南海高野線については、学文路駅、紀伊

清水駅、御幸辻駅、紀見峠駅についてお尋ねします。

大きい項目2番、コミュニティバスについてですが、これも、①試験運行が始まり9カ月がたちましたというところなんです、これは7番議員と重なっておりますが、とりあえず載っけたままです。

②運賃の乗り継ぎ無料化についてなんですけれども、これ、乗り継ぎでまた200円を払う必要のないように、途中下車可能な形で考えてほしいということでのお願いをしております。

③全ルートのコミュニティバスを南海電車站に徒歩5分以内くらいで乗れる位置にバス停を設けるようにしてほしいという項目です。西ルートのコミュニティバスなんですけれども、南海電鉄への乗り継ぎが遠いので、橋本橋のたもとに橋本橋北詰という駅をつくれなにかということのお願いをしております。

また、④で、北ルートグリーンコート三番館前の駐車場を変更できないかということで、例えば、おおはぎ内科前でいいのではないかと、これもお願いしております。

続きまして、3番、防災対策について。

①避難場所は安全な場所ですかということでお尋ねします。

地震時の避難場所である橋本中央中学校、橋本小学校は、水害時の避難場所ではありません。水害時は旧橋本小学校だと思います。同様の箇所が市内にはほかに3箇所ありますが、それを住民に徹底できているのか。ハザードマップ上に、水没する位置にそういう場所がありますが、市民は避難場所として勘違いしないかというのを尋ねます。

②震災や豪雨対策の推進について、どのようなことを考えていますか。長期総合計画の19ページ目の市民意識調査結果から見ますと、(1)防災無線放送の受信機・発信機を、発信機はどうかあれですが、家庭内等に引き込みできないかということ。雨は風が強くても家庭内であれば聞こえるように対策はとれないのかという質問です。

(2)歩道橋や階段や支柱の部分に、車で走っていてもわかるように、また、市役所内外にも、堤防が決壊したらここまで水が来ますというラインを入れることはできないか。日頃から見ていると、みんな逃げる場所が、どこまで上がればいいのかというのが非常にわかりやすいと思いますので、お願いすると同時に、簡単にできることかと思ひまして、お尋ねします。

それと、この19ページ、市民意識調査の下に書いてありますように、市民の方に緊急医療体制が非常に気になるという結果が出ておりまして、それについても、こういう災害時にも関係してくるということでお尋ねいたします。

半分以上の市民が、50.1%ですか、アンケート上は、安全・安心対策で、中で回答しておりますが、この現状、医療機関の救急医療体制ですが、いつも、昔はたらい回しされたということをよく耳にしたんですが、橋本市民病院は、改善というかその辺の対策はどのようにしているのかということをお聞かせいただければありがたいということで、とりあえずつけております。

以上、大項目3点、よろしく申し上げます。

○議長(岡 弘悟君) 杉本議員、最後のやつは。

○3番(杉本俊彦君) 聞き方、悪いですね。

○議長(岡 弘悟君) というか、書いていないので、通告外になるんですけども。関連し

て聞いていただくことは可能ですけども、最初の通告ではちょっと厳しいので、もし関連して聞かれる場合は問題ありませんけども、最初の通告の中では書いておりませんので、通告外として、今は取り扱いをさせていただきます。関連してもらう分には結構です。

○3番(杉本俊彦君) はい。

○議長(岡 弘悟君) 3番 杉本君の質問項目1、無人駅の利活用に対する答弁を求めます。

総務部長。

[総務部長(小原秀紀君)登壇]

○総務部長(小原秀紀君) おはようございます。

無人駅の利活用についてお答えします。

一点目のJR和歌山線については、さきの6月議会のご質問の際にお答えさせていただきましたが、その後の進捗やJR西日本の方針について、お答えします。

JR西日本では、経営負担の軽減、健全な鉄道継続運営を目的として、乗降客の少ない駅のシンプル化と多い駅の強靱化を計画していると6月議会でご説明いたしました。その後、JR西日本の担当者が7月末に来庁され、本市に対して、高野口駅、紀伊山田駅、下兵庫駅、隅田駅の4駅のシンプル化のイメージの説明がありました。

JR西日本のシンプル化の初期のイメージでは、高野口駅は無人駅ではありませんが、駅舎は耐震化済みのためそのまま待合室化し、跨線橋を撤去、北側に改札口を用意するイメージの説明がありました。

次に、紀伊山田駅は、駅におりるスロープはそのままで、老朽化した屋根の既存部分を撤去し、駅のホームに張り出している市の駐輪場を屋根のかわりとし、その下に改札を移動させるイメージの説明がありました。

次に、下兵庫駅は、線路に近い待ち合いを

線路から遠ざけるセットバックを検討しているとの説明がありました。

最後に、隅田駅は、裏口に改札をつくるのが困難で、既存の跨線橋を補強し、駅舎はシンプル化するイメージの説明がありました。

ただし、今、ご説明したシンプル化は、今後の駅設備の一例であり、JR西日本としても地域住民や関係団体との協議を進めながら、意見を反映できるところは反映したいとの意思表示がありました。

また、スケジュールについての説明もあわせてありましたが、県内に約80の駅があり、年に3駅から4駅、毎年、紀北、紀中、紀南から1駅ずつシンプル化または強靱化し、15年から20年のサイクルで考えているとの説明があり、JR西日本としては、シンプル化の進めやすい紀伊山田駅、下兵庫駅から手がけ、4年から5年かけて隅田駅、高野口駅までのシンプル化を行えればと考えているとの説明がありました。

市といたしましては、JR西日本の説明にあったように、1駅ずつ慎重にJRと地域や関係団体等の意見交換の中継ぎをしつつ、将来的な負担等の必要性を勘案しながら、引き続きJRと協議を進めていきたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

2点目の南海高野線については、6月議会でもお答えしたとおり、駅舎等についてJRのような方針は伺っておりませんが、本市を南北に縦断する生活路線で、市民生活に欠かせない重要な公共交通網であると認識しています。

南海電鉄沿線の動向には十分注視し、情報収集に努め、将来、同様のお話があれば、地域や関係団体等と意見交換を行いながら、慎重に協議を進めることになると考えております。

○議長（岡 弘悟君）3番 杉本君、再質問

ありますか。

3番 杉本君。

○3番（杉本俊彦君）まず、前回の一般質問で、地域の方とお話をするということであったんですけども、この間、9月9日ですが、高野口町の繊維関係の方、商工会の方をお訪ねしましたんですが、まだ聞いていないということをお話を9月9日時点でお話しされておりました。

やはり、もうちょっと積極的に、市が中をとって地域の方をお話しするにしても、やるべきやというふうにご検討中での再質問といたします。

まず、JR西日本としては、紀伊山田駅、下兵庫駅からシンプル化を考えていることですが、地元地域の方々への説明会や、商工会、商工会議所等にアクションを起こしているのでしょうか。民間といえども公共交通の要ですので、JRと地元との説明会はJRに任すことなく市が主導してやっていただきたいと思っております。

それが、市と住民とJRとの協働施策だと思っておりますが、アクションを起こしているなら、どのように進められるのか、ご説明してください。

○議長（岡 弘悟君）総務部長。

○総務部長（小原秀紀君）JRのほうからお話がありまして、その後、高野口商工会、それと、橋本商工会議所、それと、一部ではあるんですけども、関係の区長に、こういった話があったということで情報共有を行っております。

それで、今後についてなんですけれども、今後については、先ほどもご答弁させていただきましたように、将来の負担等の必要性も勘案しながら、地域や関係団体と協議を進めたいというふうにご検討中でございます。

○議長（岡 弘悟君）3番 杉本君。

○3番（杉本俊彦君）そのお話をさせていただいておるといのは、ちょっと、私、9月9日に聞いたときに、聞かれていないと言われたので、まだきょう12日ですので、3日前の話で、今言った方は代表の方ですね。聞いていないということでお話を聞いたんですけれども、行っているんですか。そこ、行き違いがないかどうか、ちょっと。

関係団体といいますが、いろいろたくさんあると思うんですけれども、行っているのかどうかというのが、今よくわからなかったもので、再度、間違いなく、9月9日以後でしょうか。それちょっとお聞かせいただきたいんです。

○議長（岡 弘悟君）総務部長。

○総務部長（小原秀紀君）それは商工会に限定してのことでしょうか。高野口商工会には6月に担当が説明に行っております。それは担当課長からも確認しておりますので。高野口商工会へ説明に行ったということです。

○議長（岡 弘悟君）3番 杉本君。

○3番（杉本俊彦君）わかりました。

二点目の南海電鉄の利活用の形がまだちょっとコメントないんですけれども、JRと違って、このままでいいとお考えなのかどうかなんですけれども、それと、無人駅は地域にとっては寂しいもので、すごい田舎というか、近くの土地や住宅の価値も少なからずマイナスイメージということでとられはしないかということをお心配しております。

無人駅を利活用することでマイナスイメージを払拭し、元気な地域であり住んでみたいと思える、そんな環境の橋本市になることを祈っておるんですが、もう少し南海電鉄にもアクションを起こしてもらえないでしょうか。

市が南海電鉄に、こんなことを考えているのですがと提案するのはだめなんでしょうか。市と住民と南海電鉄の協働施策の一つだと思

いますが、それは無理なんでしょうか、お尋ねします。

○議長（岡 弘悟君）総務部長。

○総務部長（小原秀紀君）南海電鉄につきましては、先ほどもご答弁させていただきましたように、こういった無人駅の更新計画はないというふうなことで聞いております。

それで、この件について南海電鉄の担当部署に問い合わせをしたところ、やはりJRと同じように、こういった話があるようであれば、関係自治体でありますとか地域の団体と協議をしたい、お話し合いを持ちたいというようなことはおっしゃられておりました。

ということですので、JRと同じように、そういったお話がありましたら、また市としても関係団体、地域にご説明の中継ぎ等をさせていただいて、情報共有等も進めていきたいというふうにご考えております。

市のほうから主体的というふうなお話もありましたけれども、この点につきましては、6月議会でもご答弁させていただきましたように、全国の事例を見ましても、やはり地域団体でありますとか地域住民の盛り上がりによって、こういった無人駅の利活用をされた場合に成功例が多いということですので、できるのであれば、地域団体やそういった盛り上がりを見て、市のほうもかかわりをどうしていくかということをお考えしていきたいというふうにご考えております。

○議長（岡 弘悟君）発言するときは、番号と挙手をよろしくお願いします。

3番 杉本君。

○3番（杉本俊彦君）結構でございます。終わります。

○議長（岡 弘悟君）次に、質問項目2、コミュニティバスに対する答弁を求めます。

総務部長。

〔総務部長（小原秀紀君）登壇〕

○総務部長（小原秀紀君）コミュニティバスについてお答えします。

一点目の、試験運行が始まり9カ月がたった時点での傾向と対策などのおただしについては、7番議員のご質問の際にご説明をさせていただきますとおりでありますので、ご理解のほど、よろしく願いいたします。

二点目の、運賃の乗り継ぎ無料化についてですが、現状のコミュニティバス等の運行の中では、デマンドタクシーからコミュニティバス、民間バスへの乗り継ぎの場合かその逆の場合に、乗り継ぎ券を発行し、割引を行っていますが、これは昨年12月から一部コミュニティバス路線区間についてデマンド交通を試験的に導入したことに伴い、デマンド交通利用者の負担軽減として実施しているものであり、コミュニティバス同士の乗り継ぎやコミュニティバスと民間路線バスの乗り継ぎについては、それぞれの便ごとに運賃をいただいているのが現状です。

平成31年度から予定している市内公共交通の再編実施計画では、現在のコミュニティバス路線を根本的に見直し、保健福祉センターを発着とする周回ルートではなく、公共交通の役割分担により、民間の路線バスを幹線系統とし、その幹線にコミュニティバス路線やデマンド交通をつなぐ計画を予定しています。

したがって、駅や病院など主要な目的地へは一、二回の乗り継ぎが必要となるため、スムーズな乗り継ぎを行うための手段の検討や、バス運転手の負担の軽減なども考慮する必要があります。

今後、大きな公共交通網の再編を実施していく中で、法定協議会である橋本市生活交通ネットワーク協議会でも、この乗り継ぎ無料化や軽減については議論されることとなると考えていますが、例えば、1日乗車券など乗り継ぎ手続き自体が不要となるような方法も

乗り継ぎ無料化の方法の一つではないかと考えています。

次に、三点目の、全ルートของコミュニティバスを南海電車の駅に徒歩5分以内で乗れるバス停を設けるようにしてほしいとのご要望ですが、現在、運行中のコミュニティバスが乗り継ぎなしで鉄道駅の近くにバスの停留所があるのは、東ルートでは橋本駅東口の停留所、中ルートでは橋本駅東口と紀伊山田駅口、御幸辻駅口の三つの停留所、北ルートではグリーンコート三番館前の停留所、西ルートでは神野々ふれあい会館前、高野口地区公民館前、学文路駅前、紀伊清水駅前の四つの停留所になります。したがって、電車の本数の多い橋本駅以北の鉄道駅に全てのルートが接続できている状況ではありません。

現在、コミュニティバスの主な鉄道駅への乗り入れは、公共交通事業者との競合などの課題があるため実現していませんが、先ほどご説明いたしました市内公共交通の再編実施計画では、基本的に公共交通事業者間の競合解消を行うことから、乗り換えは必要となりますが、鉄道駅近くまでの利用が可能になると考えています。

また、西ルートの南海電車への乗り継ぎが遠いので橋本橋北詰のバス停をつくれぬかとおただしですが、この件についても、再編実施計画のルート見直しの中で検討したいと考えています。

いずれにしても、コミュニティバスを利用される方の目的もさまざまなため、地域懇談会や乗降調査などでいただいた意見も検証しながら、議員からいただいたご意見もあわせ、公共交通網全体の見直しにつなげていきたいと考えております。

次に、四点目の、北ルートのグリーンコート三番館前の停留所を変更できないかとおただしですが、グリーンコート三番館前の停

留所位置の変更は、付近の道路の形状、勾配や交差点、カーブの状況など道路交通の状況とコミュニティバス等利用者や通行者等の安全確保をさまざまな角度から検証し、現在の場所に至った経緯があります。

しかしながら、交通網の再編には利便性の向上は必要不可欠な事項であり、安全性に配慮しつつ、グリーンコート三番館の停留所位置については改めて検証したいと考えております。

○議長（岡 弘悟君） 3番 杉本君、再質問ありますか。

3番 杉本君。

○3番（杉本俊彦君） 今回のこのコミュニティバスの一般質問をする中で、実は、コミュニティバスがなければどれだけの費用が別に発生するかというのをちょっと計算してみました。

医療費という中で、コミュニティバスを利用して通院している高齢者の方、車の免許がない人に限っておりますが、これを対象として通院のためのタクシー券を配付するとして計上すると、約いくらかということで。雑な計算ですが、1,480万円というのが私の出した数字です。

次に、コミュニティバス利用者が、車での送迎等に転換することにより、バス停まで歩かなくなることで健康が損なわれやすくなることによる医療費の増加分を計上すると、約90万円。私なりの計算です。

商業に関していいますと、コミュニティバスを利用して買い物をしている高齢者、これも車の免許なしの人に限るんですが、を対象に買い物のためのタクシー券を配付するとして計上すると、これは大きいんです、約2,670万円と。私なりのです、言うておきますけど。

観光で使っている、もしコミュニティバスを利用して橋本市内の観光地、地域資源に行

っている人を対象にタクシー券を配付するとして計上すると、約290万円。

福祉として使っている、コミュニティバスを利用して福祉施設や行政施設などへ行っている高齢者、車の免許なしの人に限るんですが、これを対象にタクシー券を配付するとして計上すると、約2,370万円。

財政について、廃止されるバス停周辺の地価が低下することによって、税金、土地の固定資産税及び都市計画税の減少分を想定して検証すると、約790万円。

合計7,690万円が負担となってくるというふうな計算を私なりにやりました。

ということで、平成29年度のコミュニティバス運営にかかったお金を差し引きますと、2,590万円と言おうか、約2,500万円ほどが少なくコミュニティバスで運営できているという結果が出たわけであります。

私自身はコミュニティバスはもうやめたらいいかなと思う中で、全然、確証できなかったんですが、これはやはり続けていくべきものだなと思って、今回の一般質問をしております。

それでは、来年度から予定の再編実施計画で、公共交通の役割分担は、事業者等、民間の路線バスを幹線系統とし、その幹線にコミュニティバス路線やデマンド交通をつなぐ計画を予定しているとありますが、住民の利便さをより考えた見直しをお願いしたいと思っております。

また、コミュニティバスを利用される方の目的もさまざまな中で、地域懇談会や乗降調査などでいただいた意見を検証するときは、運行計画基準と照らし合わせることも重要ですが、もし照らし合わせても合わない場合は、合わせるようなことを考えながら、多くの市民が納得できる方向でお願いし、公共交通網全体の見直しをお願いしたいと思っております。

す。

それで、質問ですが、来年度に整備されま  
す公共交通網の再編実施は、決定後、最低何  
年間を維持することを計画していますか。

○議長（岡 弘悟君）総務部長。

○総務部長（小原秀紀君）この再編実施計画  
につきましては、国の認定を受けまして少な  
くとも5年以上というふうになっております  
ので、5年間は継続する必要があります。

それで、この再編実施計画の策定にあたり  
ましては、地域懇談会でありますとかアンケ  
ート調査、乗降調査等の内容を踏まえまして、  
生活交通ネットワーク協議会のほうで策定し  
ていただくんですけども、壇上でも答弁い  
たしましたように、効率的で持続的な運行を  
できるように、また、市民の方々の利便性の  
向上が図れるように取り組んでいきたいとい  
うふうに考えております。

○議長（岡 弘悟君）3番 杉本君。

○3番（杉本俊彦君）来年度の再編計画に期  
待しまして、2番目の質問はこれで終わりま  
す。

○議長（岡 弘悟君）次に、質問項目3、防  
災対策に対する答弁を求めます。

危機管理監。

〔危機管理監（吉本孝久君）登壇〕

○危機管理監（吉本孝久君）防災対策につい  
てお答えします。

まず、一点目の、避難場所は安全な場所  
であるかというご質問ですが、風水害におけ  
る避難所と地震における避難所の区別につ  
きましては、今年6月の区長理事会及び各  
地区区長会において説明を行ったほか、9  
月広報の特集及びホームページに掲載いた  
しました。

また、9月広報に同封した橋本市ハザード  
マップの冊子には、水害時の拠点避難所と  
して、橋本中央中学校、旧学文路中学校体  
育館、きのかわ支援学校、高野口小学校を  
除いた形

で掲載を行うとともに、今年度より新たに  
追加した各地区公民館を掲載するなどし、  
住民への周知を図っています。

次に、二点目の、震災や豪雨対策の推  
進についてお答えします。

一つ目の、防災無線放送の受信機・発  
信機を家庭内等に引き込みができないか  
というご質問ですが、現状としましては、  
防災行政無線の個別受信機は市内の拠  
点避難所や防災活動拠点に加え、土砂  
災害危険箇所に係る要配慮者施設に配  
備するとともに、聴覚障害者手帳2級  
をお持ちの方で希望された方に対し配  
布しています。

防災行政無線の個別受信機は、1台  
当たりの設置費用が約15万円と高額  
で、市内全戸への配布費用が膨大に  
なることに加え、電波の受信状況によ  
っては個別受信機用の屋外アンテナ  
を設置する必要も生じることから、導  
入は困難と考えます。

なお、天候等により聞こえにくい場  
合の補完手段として、登録制の防災は  
しもとメールによる携帯電話での受  
信や、防災行政無線の内容を無料で確  
認できるテレホンサービスも利用で  
きますので、市民の皆さまにさらなる  
啓発を行ってまいります。

二つ目の、堤防が決壊したときの浸  
水想定高のラインを入れることにつ  
いてですが、市としてはまず、市役  
所庁舎内において、来庁者の目につ  
きやすい場所に最大の浸水想定を示  
すラインを入れていきたいと考えて  
います。

○議長（岡 弘悟君）3番 杉本君、再  
質問ありますか。

3番 杉本君。

○3番（杉本俊彦君）区長理事会や各  
地区区長会で説明を行うということ  
と、9月広報の特集及びホームページ  
に掲載しても、9月広報に同封した  
橋本市ハザードマップの冊子に記  
入していても、各地区公民館も避  
難場所だ

と掲載しても、地域住民に伝わったのか疑問です。

安全対策は、やってもやっても過ぎるとい  
う言葉がないのがつらいところですが、市民  
に口頭で伝えるという方法、生の声を伝える  
方法を、あるいは啓発する方法なんですが、  
それをするにはできないものなのでしょう  
か、お尋ねします。

○議長（岡 弘悟君）危機管理監。

○危機管理監（吉本孝久君）市としましては、  
地域の防災訓練等におきまして、防災講話と  
いうのを実施しております。その防災講話に  
合わせまして、拠点避難所についても丁寧な  
説明をしていきたいというふうに考えます。

○議長（岡 弘悟君）3番 杉本君。

○3番（杉本俊彦君）今までのコメントの中  
で、個別受信機1台当たりの設置費用が約15  
万円で高額ということですが、私が調べたど  
ころ、平成17年度に個別受信機1,621台を住民  
に購入して渡している1台当たりの単価が税  
込み3万3,000円の自治体がありました。近年  
は10個購入時の1台当たりの単価は4万  
5,000円ということで、無償貸与をして渡して  
いるということです。

本市も、必要な世帯にだけということにな  
ると思いますが、設置できる可能性を探っ  
てほしいのですが、いかがでしょうか。

○議長（岡 弘悟君）危機管理監。

○危機管理監（吉本孝久君）議員おただしの、  
三、四万円程度で個別受信機が購入できる  
ということでございますけども、過去にアナ  
ログ回線で整備した防災行政無線の場合でし  
たら、個別受信機というのは、三、四万円程  
度で整備できるというふうに聞いております。

橋本市が防災行政無線を導入したときには、  
国の方針ではアナログではなくデジタル方式  
でしか認可されないということで、デジタル  
回線のみ認可となりました。そのため、デ

ジタル回線の個別受信機は15万円というふう  
なことになったものでございます。

○議長（岡 弘悟君）3番 杉本君。

○3番（杉本俊彦君）結局、デジタルでない、  
アナログなために入れられないということ  
ですよね。それは何か、物がなにか法的な制  
約があるとか、そういうことと理解してよろ  
しいのでしょうか。

○議長（岡 弘悟君）暫時休憩いたします。

（午前10時5分 休憩）

（午前10時5分 再開）

○議長（岡 弘悟君）再開いたします。

危機管理監。

○危機管理監（吉本孝久君）デジタル行政無  
線につきましては、個別受信機につきましては  
15万円程度という話を先ほどさせてもらっ  
たんですけども、各戸配布するにあたりま  
して、世帯を限定するにあたりまして、今  
度の防災行政無線の更新時期というのが平成  
33年度から平成34年度あたりに現在の防災行  
政無線を更新すると。このときに、有利な財  
源であるとか、そういうデジタル行政無線の  
個別受信機が値段が下がるとかいうふうな一  
定の条件がそろえば、個別受信機の導入も考  
えられるというふうに思います。

○議長（岡 弘悟君）3番 杉本君。

○3番（杉本俊彦君）実は、防災のこの意識  
なんですけれども、市民の意識調査による安  
全・安心対策についてというところのページ、  
長期総合計画の中なんですけど、この19ペ  
ージのところにある中で、やっぱり市民が  
一番見ているといおうか関心があるとい  
おうか、そういうのは震災対策の推進  
とか豪雨対策の推進というところに  
焦点があるので、今、尋ねてお  
るんですけども、その中で、もし  
そんなときにも、例えば救急車で  
運ばれても病院が断ると、要す  
るに受け入れられないという



ことも発生したりすると。

難しいですか。

○議長(岡 弘悟君)関連はしていませんね。通告外です。

○3番(杉本俊彦君)わかりました。

もうほんだら、登録制の防災はしもとメールによる携帯電話での受信や、防災行政無線の内容を無料で確認できるテレホンサービスも利用できますが、全て携帯電話ありきの話になっております。

現在設置の防災行政無線にも寿命があると思いますので、先ほどからの話の中で、もし更新時期がついそこにあるならば、そこでひょっとしたら室内用の個別受信機のことも考えていっていただけるかもしれないと思うので、更新時期はいつ頃でしょうか。

○議長(岡 弘悟君)先ほど答弁ございました。もう一度聞く場合は、再質問してください。結構ですよ。もう一度聞きますか。

○3番(杉本俊彦君)もう一度お尋ねします。

○議長(岡 弘悟君)危機管理監。

○危機管理監(吉本孝久君)現在の防災行政無線の更新時期につきましては、平成33年度から34年度あたりというふうに見込んでおります。

○議長(岡 弘悟君)3番 杉本君。

○3番(杉本俊彦君)じゃ、そのときに、個別受信機も今後の対策の一つとして設置することを検討していただけるという理解で。

○議長(岡 弘悟君)いや、そういう答弁は行っておりません。もう一度、確認していた

いただたら。

○3番(杉本俊彦君)では、個別受信機も今後の対策の一つとして設置することを検討できないものでしょうか。

○議長(岡 弘悟君)危機管理監。

○危機管理監(吉本孝久君)先ほど答弁しましたとおり、防災行政無線の更新時に、個別受信機のコスト面から見て、なおかつ有利な財源があるという場合につきましては、導入の一つの判断材料とさせていただきたいと思えます。

○議長(岡 弘悟君)3番 杉本君。

○3番(杉本俊彦君)もう最後ですけれども、市役所の中に最大浸水想定ラインを示すということで、それはやっていくということをお願いしたので、ぜひ順次、その市役所内だけじゃなしに、国道の歩道橋の柱だとか階段だとか、要するに目のつきやすいところも含めて、今後どんどんラインを入れていっていただけることをお願いして、終わりにします。

○議長(岡 弘悟君)3番 杉本君の一般質問は終わりました。

この際、10時25分まで休憩いたします。

(午前10時10分 休憩)